



岡山大学法学部だより



※ 本メールは登録された方におのみお送りしています

第 85 号(2014 年 2 月 21 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

=====
寒い毎日が続きますが、日差しにはすこし春のきざしが感じられるようになりました。

目次

- エストニア便り ～「北の国」から～ (第 1 回)
- 法学部からのお知らせ・最近の法学部

-
- エストニア便り ～「北の国」から～ (第 1 回)
-

IT 立国エストニア

昨年の 9 月からエストニアのターリンにきています。エストニアは人口 130 万人の小さな国ですが、2004 年には EU に加盟し、また、2011 年にはユーロ圏の仲間入りを果たしており、現在、この国は旧ソ連諸国の中では政治的にも経済的にも最も安定した国の一つになっています。首都ターリンの旧市街は世界遺産に選ばれており、中世の面影を今も残すその街並みはとても美しく、中心にあるトームペアの丘からの景観はさながらメルヘンの世界といった感があります。

しかし、この国の歴史は順風満帆のそれではなく、13 世紀以来、デンマーク、ドイツ、スウェーデン及びロシアといった諸外国の支配の下、様々な苦難の時代を経験して今日に至っています。特に、第二次大戦の最中に最初の独立国家がソ連の占領によって消失した結果、この国の人々は、約半世紀の間、ソヴィエト体制下での苦しい生活を強いられることになりました。

1991 年の独立後は、社会主義経済から自由主義経済への移行期を経て、現在は IT の推進を国策の一つに掲げて目覚ましい発展を遂げています。すでに利用されておられる方も多いのではないかと思います。スカイプはターリンで最初に開発され、この国が誇る画期的な発明の一つになっています。また、国の政策を決める主要な会議でもパソコン上で承認が行われる「電子閣議」の制度が導入されており、2007 年には世界で初めての国政レベルでの電子投票による選挙が実施されたりもしています。政府による市民向けのサーバーも充実したものとなっており、ヨーロッパの人々はこの国を「バルト海のシリコンバレー」と呼んだりしています。

実際、この国に来て、それまで大学と自宅のインターネットしか利用したことなかった自分が、今ではタブレット持参で、公共の施設はもちろんのこと、街中に無数に設けられているスポットで自由にインターネットを楽しんでいます。郊外に向かうバスの中でも、まだすべてがそうなっている訳ではありませんが、こうした free wifi のサービスを利用することがけっして珍しくはない状況になっています。1990 年代半ばにモスクワにいた頃には電子メールさえ使用しておりませんでしたので、その頃から比べると、留学生活も様変わりして、本当に便利な時代になったものだと思います。グローバル化の流れの中、東京オリンピックに向け、日本もこれからそうした方向に向かわざるを得ないように思いますが、エストニアはすでに、文字通り、世界有数の IT 立国になっていると言えるでしょう。これから今年の 9 月末までこの国に滞在する予定ですが、次回には、私が現在こちらで研究している民族問題を話題としたこの国の政情についてお話しすることにしたいと思います。

○ 法学部からのお知らせ・最近の法学部

☆今年度卒業予定のみなさんへ

(卒業記念パーティー実行委員会からのお知らせ)

岡山大学法学部卒業記念パーティー

日時： 3月25日(月) 18:00～(受付17:30～)

場所： 岡山大学ピーチユニオン4回

会費： 4000円(予定)

服装： ドレスコードはありません

申込は①氏名、②3年次所属ゼミの2点を記載の上、下記実行委員会アドレスまでメールしてください。

(締切：3月3日(月))

okadai.graduation@gmail.com

岡山大学法学部卒業記念パーティー実行委員会

- ・本メルマガは、毎月2回程度配信しています。
- ・法学部の詳細情報に関しては、HPも併せてご覧ください。
法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>
- ・本メルマガには返信なさないようにお願いします。
- ・本メルマガの登録・解除は、以下のURLにてお願いします。
<http://www.law.okayama-u.ac.jp/local/mail/>
- ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp まで。